

武庫川流域委員会 WG まちづくり部会（第5回）検討内容協議事項(案)

2005.09.14 まちづくり部会主査 田村博美

1. これまでの経緯

まちづくりWGはこれまで4回の会議を行い、流域委員会で決定した議事フローB及びC,Dに該当する項目の中でとくに検討を要する項目と将来の武庫川づくりに必要と考えられる足だし項目について協議と作業を行ってきた。委員の役割分担と現在の状況は以下、表の左のとおりである。

2. 今後の検討内容とスケジュール

今後流域委員会の検討時間が迫る中で、委員会の議論と平行して以下に例示する多くの検討が早急に必要となっている。例えば、流域の現状に対する評価、流域の将来フレーム(人口、市街化動向、土地利用等)、総合治水のなかでまちづくり部会として検討すべき項目と内容の深化、川づくりとまちづくりの連携による魅力あふれる流域づくり、上流と中、下流の連携策、アンケート調査の集計分析等多くの課題がある。

また、これらをどのように消化し、基本方針と整備計画に活かすのか、今回消化は出来ないが今後何らかの形で継続するのか等についても協議する必要がある。

3. 現状と今後について課題表

これまでの検討項目の概要		現状	課題、今後の検討及び作業方針、スケジュール等			
協議内容(項目)050514 提示	方針と状況、課題	分担	050914 現在	基本方針・整備計画に活かす	付属資料として作成	今後の継続とする
武庫川の位置づけと役割に関する資料の読み込みと分析・評価、現況の課題等	・各市総合計画、都市マス、緑の基本計画、景観計画等既存資料の整理、各計画における武庫川等の位置づけ等を整理する。	現在整理中 田村	総合計画、都市計画 MP について神戸市、三田市を除き分析済み 別紙 050914 資料 阪神間都市計画の課題資料 050914 参照	B,C 流域都市の将来像 将来目標のスパン超長、長、中、短期 ・関係市ヒアリング		
武庫川総合治水の中で、 -1 土地利用規制等市街化区域流出抑制策  -2 一時貯留施設整備  -3 建築、都市整備面からの超過洪水対策	・将来土地利用動向について開発規制、既存林地保全等流出抑制策の検討 ・市街化農地、公共公益施設用地、学校、公園、民間グラウンド、駐車場等の雨水一時貯留化 ・建築用地の多目的遊水池化 災害に強い住宅地づくり、住宅群づくり、建築のピロティ化等減災化対策 以上の検討を行い計画提案を行う。 ハザードマップが必要。	総合治水 WT か 伊藤、酒井 まちづくり WG 提案 佐々木、岡田 まちづくり WG 提案 岡田、田村		B,C 流域都市の将来土地利用 B 流域の開発抑制等 ・関係市、機関ヒアリング  B ハザードマップとリンクした超過洪水対策案		
武庫川と周辺地域の魅力づくり、特色と個性ある川づくりに向けた取り組み  歴史文化、レクリ、スポーツ需要、景観資源の活用と景観整備、川を活かし、川に向かったまちづくり等  都市やまちと武庫川の中継交流拠点、情報拠点、文化拠点としての仮称「川の駅」の提案と構想づくり等	・武庫川と沿川の公園緑地、樹林等景観資源分布、主な公共公益、教育施設分布、歴史文化資源分布、民間オープンスペース分布、旧街道、ハイキング道、水路網等を 1/5000 図で整理し、分析評価し計画提案を行う。 ・沿川の地域資源分布状況、交通アクセス条件、都市、まち側と武庫川の交流点、上中下流域の交流点、支流と本流の交流点等を調査分析し多機能交流拠点としての仮称「川の駅」を提案する。  三田市、篠山市域の 1/2500 図が必要。	現在作業中  草薙他全員参加 まちづくり WG 提案 田村試案図作成  まちづくり WG 提案	武庫川カルテ及び図提案、一部作成済み参照  草薙、岡田、伊藤、田村で分担、現状報告  県より入手し地区カルテ化済み(36分割図)	B,C に関する現況把握と評価 ・データの追加修正要 B,C 「武庫川カルテ」による現地に即した実践的提案  C,D 武庫川カルテ分析を活かして、モデル的提案を行う	沿川すべて作成するのか、モデル的に重点地区を選び提示するのか	
上流中流下流の連携策	・多様な活動組織、活動概要の整理	まちづくりWG 酒井、伊藤		D 既存資料の活用と連携方策の検討		
その他	・常流水量の確保、流域の水循環 潮止め堰の見直し等 その他フロー B、C、D に関わる提案 ・以上に関わる他事例調査、資料収集 ・アンケート調査のとりまとめ	適宜  まちWG、環境WG協働		アンケート結果の要点について B,C,D に活かす	アンケートの取りまとめと活かし方	